

～ヘイトクライムが多発する今～

関東大震災から 100 年

朝鮮人大虐殺を考える!!

2023年9月30日(土)

13:30 開場 14:00 講演

15:30 討論 16:30 終了

講師 西村直登(にしむらなおと)

同志社大学人文科学研究所嘱託研究員

専門は朝鮮近現代史・近現代日朝関係史。これまで関東大震災における朝鮮人虐殺事件を経験した朝鮮人の経験を日朝関係史の中で位置づけて、研究をおこなってきた。主な論文として「関東大震災下における朝鮮人の帰還」「関東大震災に対する朝鮮社会の反応」「関東大震災朝鮮人犠牲者名簿の生成」等がある。



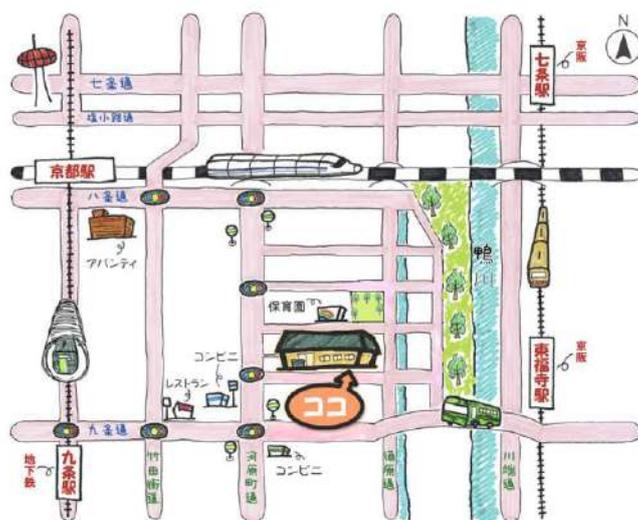
参加無料・ネット配信無

今年は関東大震災発生から 100 年になります。大震災に被災した民衆(死者・行方不明 10 万人以上)たちは「朝鮮人が井戸に毒を投げた!」「朝鮮人や中国人が暴動を起こしている!」とのデマに踊らされ、数千人ともいわれる朝鮮人・中国人が主に民間人の手によって虐殺されました。

現在の日本社会でもネット上では差別や中傷、ヘイトスピーチが蔓延しています。民族学校や民族団体への脅迫・放火事件、朝鮮人集住地域(ウトロ)への放火、反差別活動団体や個人へのいやがらせ・脅迫などのヘイトクライムが後を絶ちません。

この時代、関東大震災のような大災害が発生した時、デマに煽られた人々が、社会的弱者といわれる人々を抹殺する事件が起こりかねない恐怖すら感じます。歴史から学び、皆さんと共にこの問題を考え、何ができるか考えましょう。

場所:京都市地域・多文化交流ネットワークサロン(南区東九条東岩本町 31)



問い合わせ先:

090-3976-9420(朴 パク)

共催:日本基督教団京都教区「教会と社会」特設委員会、京都府京都市に有効なヘイトスピーチ対策を求める会、京都・東九条 CAN フォーラム